

# 福岡県の近世城郭 2 筑後の部

かつて存在し、政治や文化の中心として繁栄した柳川城と久留米城。これらの城はどのような歴史を経て今に至ったのでしょうか。またどんな姿をしていたのでしょうか。

本大会では、筑後の城郭に造詣が深いお二人に、柳川城・久留米城の築城やその背景、変遷などについて語っていただきます。

## 講演

### ◆「柳川(柳河)城の歴史」

中野 等 氏 (九州大学大学院比較社会文化研究院教授)

豊臣秀吉の九州平定によって、立花宗茂は豊後大友氏から独立し、新たな領知を下筑後三郡に得ます。筑後立花領の城地は山門郡柳川に定められました。立花宗茂および田中吉政によって柳川城は近世城郭へと姿を変え、城下町は筑後地方における政治と文化の拠点として繁栄していくことになります。今回は、立花宗茂や田中吉政の時代に力点を置きつつ、近世柳川城の歴史と城下町の構造について考えていきます。

### ◆「発掘調査に見る久留米城下町」

- 屋敷地内の土地利用状況 -

園井 正隆 氏 (久留米市市民文化部文化財保護課長)

有馬豊氏が元和7(1621)年に入部して以来、本丸・二ノ丸・三ノ丸・外郭(そとぐるわ)に区割りされた城内と、大きく4箇所に分散した侍屋敷、寺院、庶民の町屋で構成する久留米城下を形成しました。

久留米市では、平成元年から本格的な近世の発掘調査を始めました。平成24年度に約100ヶ所の地点を調査し、侍屋敷における敷地内の配置・町屋の状況など様々な成果を得ることができました。今回、その一部をご紹介します。

期 日 平成25年 **6月22日(土)** 13:00~16:00 ※受付開始 12:30  
会 場 **福岡県立図書館** レクチャールーム (福岡市東区箱崎)  
定 員 **130名 (要事前申込)** ※申込用紙は裏面です  
参加費 **無料**

主催 福岡県教育委員会  
共催 福岡県地方史研究連絡協議会 (福史連)

〈お問合せ〉 福岡県立図書館 郷土資料課 ☎092(641)1126

# 第47回福岡県地方史研究協議大会 受講申込書

【申込締切】6月11日(火)

(ふりがな) お名前	( )		
該当するものを○で囲んでください。 ・福史連加盟団体所属 ・それ以外の団体所属 ( )		電話	
		FAX	FAXがある方は必ずご記入ください

FAX、郵送又はEメールで受付します。※電話での申込みは、御遠慮ください。

① FAX・郵送：下の受講申込書に必要事項を記入して、FAX又は郵送してください。

**FAX：092-641-1127** この面をそのままFAXしてください

郵送：〒812-8651 福岡市東区箱崎1丁目41-12  
福岡県立図書館 郷土資料課

② Eメール：下記のアドレスに必要事項(下の受講申込書の項目)を明記してください。送信の際はタイトルを「地方史大会申込」としてください。

【送信先】kyodo-reference@lib.pref.fukuoka.jp

※申込が定員を超えた場合は、受講をお断りする方のみにご連絡します。

お問い合わせ：福岡県立図書館 郷土資料課 TEL：092-641-1126

個人情報保護のため御記入頂いた内容については責任を持って管理し、当事業以外の目的で使用することはありません。

## \* 同時開催 \*

### ◆ 6月22日(土)

#### 第8回地方史フェア (福史連主催)

福史連加盟団体のパネル展示と刊行物の販売を行います。(当日のみ)

### ◆ 6月1日(土)~6月30日(日)

福岡県立図書館3階郷土資料室前で関連の展示を行います。

お問合せ 福岡県立図書館 郷土資料課

福岡市東区箱崎1丁目41-12

TEL 092-641-1126 (直通)

FAX 092-641-1127 (代表)



公共交通機関を御利用の上お越しください

- ・地下鉄「箱崎宮前」駅 徒歩3分
- ・JR九州「箱崎」駅下車徒歩15分